

# Shelter

## 機能改善情報

2020年07月

ナレッジスイート株式会社

※リリース当日までに、画像イメージ等に変更がある場合があります。

1. 「テーブルの管理」の機能追加
  - 1-1 「エディタ」に「タブの設定」を追加
  - 1-2 エディタの設定の「選択肢一覧」に大項目を追加
  - 1-3 レコードロック機能を追加
2. エディタ項目の設定値を追加
  - 2-1 「最大文字数」「配置」「非表示」「端数処理種類」「サムネイルサイズ」の追加
  - 2-2 「CSSクラス」の追加（開発者向け）
  - 2-3 「入力検証」機能の追加（開発者向け）
3. 「通知」にカスタマイズ機能を追加
4. 「リマインダー」の機能改善
5. 「ヘルプ」メニューの追加

# ■ 1. 「テーブルの管理」の機能追加

## 1-1 「エディタ」に「タブの設定」を追加

テーブルの管理の「エディタ」タブにて、「タブの設定」を追加します。

「新規作成」から追加するタブを作成します。  
作成したタブは、エディタの設定の「現在の設定」のプルダウンに追加されます。

テーブルの新規作成・編集画面において、  
作成したタブごとに項目の表示を分けることができます。

例) タブの設定で「詳細」「詳細 2」を追加した場合

# ■ 1. 「テーブルの管理」の機能追加

## 1-2 エディタの設定の「選択肢一覧」に大項目を追加

「選択肢一覧」に「項目」「リンク」「その他」のプルダウン項目を追加します。

### ■ 項目

The screenshot displays the 'Editor Settings' (エディタの設定) interface. It is divided into two main sections: 'Current Settings' (現在の設定) and 'Options List' (選択肢一覧). In the 'Current Settings' section, a dropdown menu is set to 'General' (全般). Below this are buttons for 'Up' (上), 'Down' (下), 'Detailed Settings' (詳細設定), and 'Disable' (無効化). The 'Options List' section shows a dropdown menu with 'Item' (項目) selected, and a list of options including 'Item' (項目), 'Link' (リンク), and 'Other' (その他). Below these are several input fields for 'Lesson Management' (課題管理) such as 'Comment' (コメント), 'ID', 'Version' (バージョン), 'Title' (タイトル), and 'Content' (内容).

「タブの設定」で追加したタブがある場合、「現在の設定」より項目を有効化したいタブを選択し、「選択肢一覧」より項目を有効化してください。

※コメントはいずれかのタブで有効化されている場合、全てのタブで表示されます。

# ■ 1. 「テーブルの管理」の機能追加

## 1-2 エディタの設定の「選択肢一覧」に大項目を追加

「選択肢一覧」に「項目」「リンク」「その他」のプルダウン項目を追加します。

### ■ リンク

現在の設定

全般

選択肢一覧

リンク

有効化

[WBS] ID

[WBS] バージョン

[WBS] タイトル

[WBS] 内容

[WBS] 開始

[WBS] 完了

[WBS] 作業量

[WBS] 進捗率

[WBS] 残作業量

[WBS] 状況

[WBS] 管理者

[WBS] チーム

課題管理

レビュー記録

リンクしたテーブルがある場合に該当テーブルが表示されます。

これまでリンクの表示位置は下部固定でしたが、本機能を利用することにより、表示位置を任意で指定可能となります。

# ■ 1. 「テーブルの管理」の機能追加

## 1-2 エディタの設定の「選択肢一覧」に大項目を追加

「選択肢一覧」に「項目」「リンク」「その他」のプルダウン項目を追加します。

### ■ その他

エディタの設定

現在の設定

全般

上 下 詳細設定 無効化

選択肢一覧

その他

有効化

見出し

これまで各項目の詳細設定から設定していた「セクション」が「見出し」項目として独立した項目となり、任意の位置に挿入可能となります。

「見出し」毎にセクションを区切り、折りたたみ表示とすることも可能です。

詳細設定

見出し

ID 2 表示名 進捗状況

セクションの折りたたみを許可

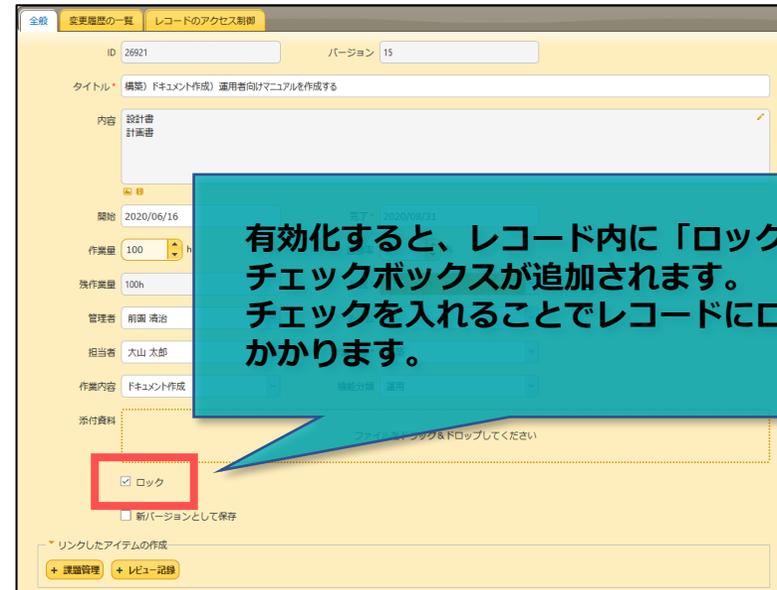
規定の表示 開く 開く 閉じる

変更 キャンセル

# ■ 1. 「テーブルの管理」の機能追加

## 1-3 レコードロック機能を追加

レコード単位でのロック機能を追加します。  
ロックを許可する場合は、エディタ項目にある「ロック」を有効化します。



ロック中はロックを行ったユーザ名と時間がレコードのトップに表示され、レコードの編集・削除が不可となります。  
ロックを行ったユーザからのみロック解除が可能です。



## ■ 2. エディタ項目の設定値を追加

### 2-1 「配置」「非表示」「最大文字数」「端数処理種類」「サムネイルサイズ」の追加

詳細設定に「最大文字数」「配置」「非表示」「端数処理種類」「サムネイルサイズ」を追加します。  
追加項目の内容および設定可能な項目は以下のとおりです。

設定項目	説明	設定可能項目
配置	左寄せ/右寄せを指定します	全項目
非表示	編集画面で項目を非表示にします	コメント以外の項目
最大可能文字数	入力できる最大文字数を指定します ※タイトル、分類の設定可能上限は1024文字です	タイトル、内容、分類、説明、コメント
端数処理種類	四捨五入/切り上げ/切り捨て/切り下げ/銀行家の丸めを指定します	数値項目
サムネイルサイズ	ピクセルで指定します（縦横いずれかに合わせます）	内容、説明、コメント

## ■ 2. エディタ項目の設定値を追加

### 2-2 「CSSクラス名」の追加（開発者向け）

詳細設定に「CSSクラス名」を追加します。

CSSクラス名を指定することで、各項目に任意のクラス名を指定し、スタイルを適用することができます。

追加項目の内容および設定可能な項目は以下のとおりです。

設定項目	説明	設定可能項目
CSSクラス名	スタイルを適用する際に使用するCSSクラス名を指定します	コメント以外の項目

例) 分類AのCSSクラス名に「test-css」を指定し、css-testというクラスを持つフォームの背景をピンク色に設定する

スタイル

ID

タイトル

スタイル 

```
.test-css input {
background: pink;
}
```

出力先

<input type="checkbox"/> 全て	<input type="checkbox"/> 新規作成	<input checked="" type="checkbox"/> 編集
<input type="checkbox"/> 一覧	<input type="checkbox"/> カレンダー	<input type="checkbox"/> クロス集計
<input type="checkbox"/> ガントチャート	<input type="checkbox"/> バーンダウンチャート	<input type="checkbox"/> 時系列チャート
<input type="checkbox"/> カンバン	<input type="checkbox"/> 画像ライブラリ	



CSSテスト

分類A

※スタイルの記述内容はサポート対象外です

## ■ 2. エディタ項目の設定値を追加

### 2-3 「入力検証」機能の追加（開発者向け）

詳細設定に「入力検証」タブを追加します。  
正規表現による入力検証機能が可能となります。  
追加項目の内容および設定可能な項目は以下のとおりです。

設定項目	説明	設定可能項目
入力検証	<p>クライアント正規表現： 入力後に、項目からフォーカスが移ったタイミングで内容を検証します (後読みなど一部のパターンは使用できません)</p> <p>サーバ正規表現： レコードの作成・更新のタイミングで内容を検証します</p> <p>エラーメッセージ： 入力内容にエラーが発生した場合に表示されるメッセージを指定します</p>	タイトル、内容、分類、コメント

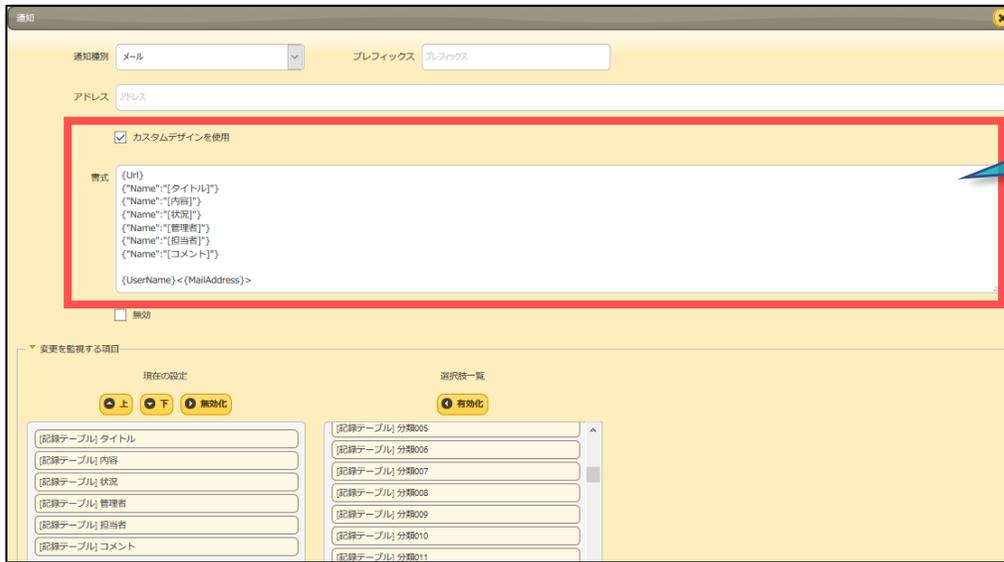
例) クライアント正規表現にてメールアドレス形式で正しく入力されているかを検証する

test@test

正しいメールアドレスの形式ではありません。

※正規表現の記述内容はサポート対象外です

テーブルの管理の「通知」タブの設定にて、「カスタムデザインを使用」のチェックボックスを追加します。



チェックを入れると書式の設定が可能となります。

#### 書式設定例)



```
{Url}
{"Name":["タイトル"],"Prefix":"■","Delimiter":":","Allow":"=>"","Always":true}
{"Name":["内容"]}
{"Name":["状況"],"Prefix":"■","Delimiter":":","Allow":"=>"","Always":true}
{"Name":["管理者"]}
{"Name":["担当者"]}
{"Name":["ロック"]}
{"Name":["コメント"]}

{UserName}<{MailAddress}>
```

例) 「状況」を“未着手”から“準備”に変更した場合の通知

以下の情報が更新されました！

<https://servername/items/12345>

- タイトル：ネットワーク構築の要件調査
- 状況：未着手 => 準備

千葉 さとみ<shelter@example.co.jp>

### ■ 3. 「通知」にカスタマイズ機能を追加

テーブルの管理の「通知」タブの設定にて、「カスタムデザインを使用」のチェックボックスを追加します。

- 書式に指定できるプレースホルダ  
書式内に右表のプレースホルダを記述すると、動的に文字列が置換されメール本文に記載されます。

プレースホルダ	置換文字列
{Url}	レコードのURLに置換されます
{LoginId}	編集画面で項目を非表示にします
{UserName}	操作したユーザの名前に置換されます
{MailAddress}	操作したユーザのメールアドレスに置換されます

- 書式に指定できる項目  
書式には項目を任意に指定することができます。  
Name属性は必須ですが他の属性は省略可能です。  
大文字小文字は識別されますので正しく記述してください。  
項目の記述は改行を含めることができません。

属性名	挙動
Name	出力したい項目の表示名を[表示名]と記述します
Prefix	出力する項目の先頭にプレフィックスを付与することができます。規定値は空文字列です
Delimiter	項目の表示名の後に表示する区切り文字です。規定値は“:”です
Allow	更新した際に古い値と新しい値の間に表示する区切り文字です。規定値は“=>”です
Always	変更が無い場合でも出力する場合はtrueにします。規定値はfalseです

項目は下記の例のように記述します。  
例)

```
{“Name”:[タイトル] , “Prefix” : “ ” , “Delimiter” : “:” , “Allow” : “=>” , “Always” : true}
```

## ■ 4. 「リマインダー」の機能改善

テーブルの管理の「リマインダー」タブの設定にて、「期限切れを送信しない」のチェックボックスを追加します。  
 チェックを付けた場合、期限が過ぎたものは送信しません。  
 また、「宛先」の設定において通知先を柔軟に設定できるよう機能を改善します。

リマインダー

件名 課題管理

内容 [[Records]]

行 [タイトル] --- [担当者] ([状況])

差出人 差出人

宛先 宛先

項目 完了 開始日時 2020/06/20 00:00 期間種別 毎日

範囲 30 日  過去に完了したのも送信  該当が無い場合は送信しない

URIを送信しない  期限切れを送信しない 条件

無効

追加 キャンセル

「宛先」として指定できる対象を追加します。

＜変更前＞

任意のアドレスをカンマ区切りで入力

＜変更後＞

以下対象を指定可能

対象	挙動
固定のメールアドレス (example@example.com)	対象レコードの全てが指定した固定アドレスに送信されます。複数の固定アドレスを指定した場合には、全ての固定アドレスをTOとして送信します
担当者、管理者	対象レコードの担当者、管理者に指定されたユーザのメールアドレスに送信します
タイトル、内容、分類、説明	対象レコードのタイトル、内容、分類、説明に記載されたメールアドレスすべてに送信します。メールアドレスはカンマ区切りまたは改行区切りで指定することができます

宛先設定例：

リマインダー

件名 WBS

内容 [[Records]]

行 [タイトル] --- [担当者] ([状況])

差出人 shelter@example.co.jp

宛先 s.chiba@example.co.jp,k.maezono@example.co.jp,[担当者],[内容]

## ■ 5. 「ヘルプ」メニューの追加

ユーザ名のメニューに含まれていた「ユーザーサポート」「Shelterについて」「KnowledgeSuite」「バージョン」を「ヘルプ」として新設したメニューに移行します。

